

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2005年8月9日

2005年8月7日現在：

8月7日に終わる1週間のコロラド州東部平原では、平年より低目の気温となり各地に驟雨が有った。この降雨は特に農作物の生育改善となる程の降水はもたらさなかった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.7日（前週：6.2）であった。Topsoil 並びに Subsoil の土壌水分は前週の状況を保った。

冬小麦の収穫は全州にて完了した。5年平均より多少早い、昨年並みの完了であった。

栄養成長期の降雨と5月下旬始め迄の平年以下の気温は、単位収量に期待が持たれたが、登熟期に入ってから的高温・乾燥気象が続き、単位収量予想は下降修正された。

2005年7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、単位収量は6月1日予想より5 bushels 減少し、27.0 bu/ac となった（2004年産実績：27.0bu/ac）。昨年実績と等しくなった。5月の天候不順が登熟を遅らせ6月中旬からの水分不足がマイナス要因と考えられる。詳細は別表の通り。

土壌水分：8月7日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	27	49	24	0
Subsoil (%)	26	46	28	0

生育状況：8月7日現在

	This Week	Last Year	5-Yr Ave.
Harvested (%)	99	97	98

Source：Colorado Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA生産量予想（冬小麦）

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
Crop	2004	2005	2004	June 1	July 1	2004	2005
CO	1,700	2,400	27.0	32.0	27.0	45,900	64,800
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com